

## 議 事 概 要

### ◎ 委員会の所管事務に係る調査について

#### 1 参考人の人選について

[資料「環境産業労働常任委員会所管事務調査における参考人の希望まとめ」参照]

- ・ 維新、民主から推薦があった、参考人候補者4人（各2人）について、各会派の意向を確認。

維新	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 参考人候補者として推薦していた独立行政法人労働政策研究・研修機構からは、国のデータを使用しているため話せる内容がないとお断りの連絡があった。</li><li>・ 大阪商工会議所からは参考人招致について了承を得ている。</li><li>・ 民主に質問だが、推薦している連合大阪については、企業における人手不足が課題となっている中で、具体的にどのような内容を聴取することを想定しているのか。</li></ul>
公明	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 参考人候補者について異論なし。</li><li>・ 会派のバランスを考えて、各会派参考人を1人ずつに絞った方が良い。</li></ul>
民主	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 維新からあった質問だが、女性の就業に関する内容を聴取するものと考えている。</li><li>・ 労働組合から見た今の課題や学術的に調査・研究をしている中での評価等について伺いたい。</li></ul>
無所属	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特になし</li></ul>

- ・ 協議の結果、まずは維新、民主からの候補者から1人ずつ参考人招致を行った上で、スケジュールや調査内容等を踏まえ、代表者会議にて議論しながら進めていくことで各会派了承。
- ・ 維新は、大阪商工会議所から参考人を招致する。
- ・ 民主は、参考人候補者を1人に絞ったのち、事務局へ連絡し、事務局から参考人の決定について各会派代表者へ周知する。

#### 2 参考人招致の日程について

- ・ 前回の代表者会議では、9月定例会後から11月定例会までの閉会中の際に委員会を開会することで話を進めていたが、衆議院が解散する可能性があるため、予定どおりの日程で実施できるか、次の閉会中に実施するかを検討し、スケジュールを調整していくことで各会派了承。